

# 会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	令和元年度 嬉野市第1回食育推進会議		
開催日時	令和元年5月27日(月) 14:00～15:20		
開催場所	塩田保健センター2階会議室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	森サチ子委員、森恵子委員、江口智子委員 古河タカ子委員、古瀬光子委員、梶原里美委員 高橋弘樹委員、北村恵美子委員、山本由起子委員 淵野日菜委員、村武悦子委員	
	事務局	市民福祉部長、健康づくり課長、健康づくり課副課長2名 健康づくり課主任	
	その他		
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議レジメ (当日、5ページ差し替え)</li> <li>・ 資料 (別添1～5)</li> <li>・ 嬉野市内小・中学校における「子どもが作る弁当の日」取組み状況 (平成30年度)</li> </ul>		
審議等の内容	別紙のとおり		

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課
審議経過	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付 異動・役員改選等で今年度委員を交代される方5名のうち欠席者を除く3名へ交付</p> <p>3. 市民福祉部長挨拶</p> <p>4. 嬉野市食育推進会議会長挨拶</p> <p>5. 協議事項</p> <p>(1) 平成30年度嬉野市食育推進事業報告について</p> <p>1) 食育推進事業について</p> <p>【事務局】P1について説明。</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査について</p> <p>3) 食育賞について</p> <p>【事務局】P2、別添2について説明</p> <p>【委員】食育調査とはどういうことか。これから調査するということか。</p> <p>【事務局】昨年度の2月の会議の際に調査結果を報告した。市内の小・中学校と保育園・幼稚園に調査を行ったものである。</p> <p>(2) 平成31年度嬉野市食育推進事業計画について</p> <p>1) 食育推進事業計画について(案)</p> <p>【事務局】P3について説明。</p> <p>平成27年にこの会議から提案された『子どもが作る弁当の日』は定着してきた。食育講演会の開催を推進するため県助成事業を園長会で案内したが、申し込みがなかった。保育士側に伝わっていなかったのかも知れない。</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査について(案)</p> <p>【事務局】P4、別添3・4について説明。例年どおり計画に沿って実施したい。</p> <p>【委員】様々な方法で広報をされているが、学校との連携で「まちコミ」を使って広報することもあるのか。「まちコミ」を使うともっと広がるような感じがする。</p> <p>【事務局】以前、学校側へ問い合わせしてみたが、基本的に緊急性があるもの、学校行事についてのみ送信しているとのこと。</p> <p>【委員】一番効果がありそうな方法だと思う。私の方から学校側にかかわってみる。</p> <p>【事務局】SNSとはフェイスブックのことか。</p> <p>【事務局】市のフェイスブックはないが、市から委託されている『うれしの元気通信』というフェイスブックで料理教室などが時々紹介されている。</p> <p>【委員】3ページの4. 食生活改善地区組織活動事業では毎年、多くの活動をされている。この活動が嬉野市の健康を作っているといっても過言ではないと思う。対話や訪問による普及活動は1万回以上もされているが、どのような活動なのか簡単でいい</p>	

審議経過	<p>ので教えてほしい。</p> <p>【委員】一人暮らしや高齢者のみの世帯に料理を一品持参して訪問し、体調確認や食事の状況などを聞いている。また、保健センターで茶飲み処のようなものを月1回開催している。これは、最近新しく開始した。</p> <p>【委員】嬉野市では孤独死ということ聞かないように思う。このような地道な活動の効果があるのではないか。</p> <p>【委員】何かしてあげたいと思うが、なかなか踏み込んだ関わりができないこともある。食生活改善推進員さん達はよくされていると感じる。</p> <p>(3) 嬉野市の食育の現状と課題について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 現状について (事前アンケートを参考に)</li> <li>2) 課題について</li> </ol> <p>【事務局】差し替え資料を配付している。記入いただいた内容について一言ずつ皆さんから意見をお伺いしたい。</p> <p>【委員】嬉野市在住ではないので嬉野市の事はよく分からないが、白石町内で須古ずしの普及に取り組んでいる。須古ずしは須古地区しか作られていないからか白石中学校でも知らない生徒がいる。また、調理実習だけではなくて農業体験もしてみたい。</p> <p>【委員】ヘルスメイトが重要視されている。高校生にも郷土料理の調理実習を通じて社会に出ても食事に困らないようにしてあげたい。また、小さい子どもも包丁を持たせ、親子でふれあいながら調理実習をするよう援助している。</p> <p>【委員】驚いたのが、6月号の市報(別添4)で約半数の小中学生が1人で朝ごはんを食べているということ。ただ、夕食はそろって食べているというのは救い。できれば朝ごはんも一緒に食べてもらいたいと思う。また、子どもが野菜嫌いだという話をよく聞く。小学生ぐらいの間に家庭で親と一緒に料理をし、野菜をおいしく食べたり家庭の味を伝えたりしてほしい。</p> <p>【委員】日本茶インストラクターとしてお茶に特化したことをしている。チャオシルではうれしの茶を使ったアイスクリームを販売している。それを使ったスイーツレシピの紹介でお茶を食べるということを広める活動にも取り組んでいきたい。</p> <p>【委員】園では残飯を少なくするような取り組みをしている。また、野菜嫌いについては他の食材と混ぜて調理するようにし、知らないうちに野菜を食べていたようにしている。また、母子家庭のところが多く、なかなか朝ごはんを一緒に食べるという余裕がないように思う。子どもは郷土料理よりスイーツの方を好むようなので、うれしの茶もスイーツにさせていただくといいのではないかと思う。好き嫌いよりも楽しく食事をするのが一番だと思う。</p> <p>【委員】「楽しく食べよう」というのが大きなテーマで、自分たちで栽培した野菜を給食で食べるということをしている。例えば、キャベツをちぎったりいんげんのすじとりをしたり、また、味見当番もしている。子どもは自身に関わることで食への興味関心も深まるということを実感している。4年に1回は保育参観で食に関する講演会や体験会をするようにしている。</p> <p>【委員】子どもにも保護者にも食に関する情報提供をしている。プランターで育てた</p>
------	--

<p>審議経過</p>	<p>野菜を給食で出している。また、噛むことは大切なので噛み方の指導もしている。</p> <p>【委員】残食ゼロを目指しているの、それに取り組みたい。また、朝ごはんを食べない子どもは保護者の意識が低い場合がある。そこへの関わりが課題。</p> <p>【委員】保健福祉事務所は直接的な食育活動はしていない。環境作りをしている。嬉野市ではずいぶん前から子どもへの食育活動を熱心にされていると思う。その活動を受けた子ども達は成人しているが、食育推進計画概要版の朝食摂取状況を見てみると、18～29歳の若い世代で約半数の人が欠食している。学校から職場に移るといいう環境が変わった際にどうするか、家庭や地域でどのように食育をしていくかというのが課題になっていくと思う。ただ、大変難しいことでもある。保健福祉事務所が事業所に対して行っている出前講座でも推進していきたいと思う。</p> <p>【委員】朝ごはんは子どもが食べたくても用意していないと食べられない。前日の夕食の残りを少しとっておいて、それを食べるように子ども伝えておくと食べるのではないかと思う。忙しいお母さん達もお菓子などではなく、少しそのような工夫をして食べさせるようにしてほしい。</p> <p>【委員】小さい時からの習慣は大切だと思う。今はコンビニという便利なものがある、親がお弁当を作らなくてもいいような時代になっている。どこかでこの流れにブレーキをかけたいと思う。だんだん悪い方向にいつてしまうのではないかと感じる。</p> <p>【事務局】5ページを見ていただくとたくさんの取り組みをされているのがわかる。先ほどの前日の夕食を朝食に使うといいという意見が出たが、例えば、母子保健推進員さんが家庭訪問をする際に食生活改善推進員さんが作ったレシピを渡して、朝食摂取を推進してもらうというように、連携をしながら食育を推進していく取りまどめを市ができればと思っている。今回は時間の都合上できなかつたが、次回は、それぞれの立場からどのような対応ができ、それをどのように連携できるか、事前におたずねし取りまどめたいと考えている。</p> <p>6. その他</p> <p>(1) 嬉野市「子どもが作る弁当の日」取組みについて</p> <p>【事務局】配布資料『嬉野市内小・中学校における「子どもが作る弁当の日」取組み状況（平成30年度）』で各学校の取組みを報告。どの学校もそれぞれ工夫を凝らし実施されている。また、学校側からも子ども達に良い効果がでてきているという意見があった。</p> <p>(2) 嬉野市健康マイレージ事業について</p> <p>【事務局】別添5について説明。今年度初めての取組み。決まったポイントを獲得すると商品券と交換できる。特定健診の受診率向上をはじめ、健康寿命の延伸や医療費の削減につながるよう実施する事業の一つ。市民の取組みについて御協力をお願いしたい。市報7月号に折り込み配布する予定。</p> <p>(3) 嬉野市食育推進会議委員名簿</p> <p>7. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-------------	--